

## 平成 27 年度 南筑後地区高齢者相互支援リーダー研修会 開催

平成 27 年 7 月 28 日（火）大牟田市「労働福祉会館」中ホールにて南筑後地区「高齢者相互支援リーダー研修会」が開催されました。今回の南筑後地区の支援活動員のリーダーの方々が 名参加されました。

研修内容は単位クラブ新任会長研修会と同様、福岡県消費生活センターから「悪質商法」「二重電話詐欺」について注意喚起を含めた内容のお話をいただきました。福岡県は昨年と比較して 2 倍を超える被害額ということで、機会あるごとにお話をいただいています。とにかく皆さん気をつけてください。「電話でお金の話は全て詐欺！」と思ってください！その後、福岡県高齢者地域包括ケア推進課より「高齢者の福祉について」ということで県の施策等をお話いただきました。

休憩を挟み、福岡県老人クラブ連合会事務局より「高齢者相互支援活動」について、活動が始まりや今までの経緯、そして活動について等を説明させていただきました。



午後の部はみやま市老連の大洲直行会長に座長を務めていただき、支援活動員として活動されているお二人の方に事例発表をさせていただきました。

お一人目は 大牟田老連の日懸老人クラブ 久保田 正会長より「日懸老人クラブの活動について」ということで発表していただきました。



お二人目は大川市老連の安中第一安寿会 宮川 善己会長より「わが町（安寿会）の老人クラブ活動について」ということで発表していただきました。

お二方の発表は、活動は平凡な活動に終始しているが、活動を続けていくためにも地道な活動が重要であると考えている。

また、皆さん、忙しい時間の中で、自分たちで活動出来る時間を作っている。色々と課題はあるが、少しずつ解決していきたい。特に健康な体を目指して、楽しいクラブ活動を出来るよう頑張っている等のお話でした。

会員の8割は農業に従事されている大牟田市 日懸老人クラブさんと工業の町の大川市 安中第一安寿会さん。住む環境は違っても、活動についての姿勢など根っこ部分は同じで『楽しく皆で活動』ということをお話されていました。日々の活動で大変なこともあると思いますが、**住み慣れた町で『遠くの親戚より近くの他人』の皆さんと楽しく活動 していけることが『老人クラブの素敵なところ』**だと私は思っています。

参加の皆さんより質問等もあり、盛会のうちに終了しました。今後は様々な場面で支援活動員の活動が地域を支えていることになると思います。今後のヒントになれば幸いです

座長の大淵会長さん、事例発表をされました久保田会長さん、宮川会長さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

この高齢者相互支援リーダー研修会は地区毎の研修会であるため、活動内容についても地域の特色等もあります。

他の地区研修会の内容をご紹介しますことで、少しでも高齢者相互支援（愛の一声運動）のお役に立てればと思います。

